

好地まちづくりだより

発行／好地地区まちづくり委員会 事務局／石鳥谷国際交流センター内 TEL・FAX 45-6639

第126号

発行日
令和8年
6月15日

PHOTO

白岩森林公園登山(青森県)

ごあいさつ

好地地区まちづくり委員会
会長 藤 館 茂

日頃より好地地区まちづくり委員会（コミュニティ会議）の事業に対するご理解とご協力に、衷心よりお礼申し上げます。

お陰様で、4月23日に通常総会、5月15日に第1回役員会を開催し、令和8年度の組織や事業計画を決定いたしました。ここにその内容をご報告いたします。

私事ではございますが、昨年の10月から半年間放映された、盛岡市の老舗旅館を舞台とした連続テレビ小説「どんど晴れ」の再放送が朝の楽しみの一つでした。旅館の玄関に飾られていた「来者如帰」のごとく、真のおもてなしの心を大切にする女将奮戦記で、県内の名所が描かれています。

「おもてなし」で思い出されるのが、2013年の国際オリンピック委員会（IOC）総会。2度目の東京招致に向けての最終プレゼンテーションで、日本が世界に誇るべき文化だと紹介した、滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」です。

PHOTO

小岩井農場の一本桜 2026年4月22日

ドラマによって小岩井農場の一本桜が一躍観光名所となり、今年も満開時には国内外の観光客で大変にぎわっておりました。

「心が素直でやさしく、家や家族を大切にする人が見えやすい」といわれる座敷わらしがドラマに何度も登場します。これも大切にしたいテーマのひとつだったのではないのでしょうか。

当委員会といたしましても、風光明媚な場所や好地地区の良さを発信するとともに「おもてなし」と「やさしさ」をもって諸事業の推進を図ってまいり所存です。引き続きご指導、ご支援賜れば幸いです。

【特別号についてのお知らせ】

これまで特別号を年2回発行しておりましたが、物価高騰の影響により、今後は年1回の発行とし、6月15日号で前年度の事業報告と今年度の事業計画をまとめて記載させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

令和8年度 各部会事業計画

基本方針

好地地区まちづくり委員会は、「地区民の参画、連携及び協働による明るく住み良い郷土」をスローガンに掲げて、地区における身近な課題の掘り起こしを行い、その解決のために市と連携をとりながら各分野における事業を実施し、活力ある住み良い地域づくりを推進する。

重点項目

- (1) 情報を共有・発信し、地域活動を進めるまちづくり
- (2) お互いが支え合い、声を掛け合うまちづくり
- (3) 賑わいを創造し、活力あるまちづくり
- (4) 生活環境を整え、安心・安全に暮らせるまちづくり
- (5) 楽しく学び、自ら行動するまちづくり



総務企画部会



◆地域づくり推進事業

- 地域内要望の取りまとめ
- 自治会等活動支援（1/2補助上限7万）
（11組織）
- ボランティア活動保険加入
- 印刷機等活用推進
- 他の部会になじまない事業

◆地域内交流推進事業

- 新年交賀会等地域交流
- 在京町人会との交流

◆活動拠点整備事業

活動施設、活動用具の整備

◆防災推進事業

- 各地区自主防災組織との連携（11組織）
・合同防災研修会、訓練等
- 自主防災活動への活動助成
（地域防災活動助成金1/2補助上限15万）
- 防災用備品整備・維持管理
（備品維持管理、緊急時燃料代、AED維持管理）

◆情報収集発信事業

- 広報活動、まちづくりだよりの発行
- イベント等情報のSNS発信の研修

保健福祉部会

◆高齢者福祉推進事業

- いきいき健康づくり教室開催
（年10回150名程度）
- 敬老事業支援
（敬老事業対象者、喜寿・米寿等記念品）

◆子育て応援事業

- 未就学児の子育て支援

◆福祉支援事業

- 好地地区福祉活動運営費補助事業
（運営費補助金1/2補助上限10万）
- 除雪機維持管理（5台分）



産業振興部会

◆商工農連携事業

- 酒蔵まつり開催(年4回)
 - ・春の陣／石鳥谷さくらまつり
 - ・夏の陣／いしどりや夏祭り
 - ・秋の陣／まちなかハロウィン
 - ・冬の陣／鍋まつり N-1グランプリ
- 既存施設や空き店舗等を活用した店舗体験の検討

◆地域活性化事例研修

- 先進地事例研修



生活環境部会



◆生活環境事業

- ごみ集積所整備補助事業(1/2補助上限20万)
- 環境美化推進事業
 - ・清掃用具貸出事業
 - ・道水路草刈支援事業(草刈機2台、芝刈機1台貸出及び維持管理)
 - ・側溝清掃支援事業(側溝蓋上げ機2台貸出)
- 環境保全整備事業費補助事業(1/2補助上限20万)

◆地域内環境整備事業

- 道路等環境整備事業
 - ・路面舗装、側溝修繕、側溝蓋架替、カーブミラーの新設
 - イメージハンプの補修[現地調査後確定]
- 防犯灯の設置事業(防犯灯新設)
- 防犯灯の維持管理事業(既存防犯灯維持管理44基)
- 街路灯整備費補助事業(1/2補助上限20万)
- 石鳥谷運動公園環境整備事業
 - ・桜樹剪定、芯止め等

◆交通安全推進事業

- 交通安全啓発推進事業
- 交通安全研修会
(交通安全協会好地分会と共催)

◆防犯推進事業

- 防犯啓発推進事業
 - ・防犯研修会(防犯協会好地支部と共催)
 - ・防犯灯維持管理への協力

◆環境保全事業

- 環境保全研修事業
 - ・先進地環境保全研修会
(地区内公衆衛生組合と共催)



教育振興部会



◆青少年育成推進事業

- 子ども体験学習開催
 - ・夏休み、冬休みこども体験学習
- 石鳥谷小学校区教育振興協議会負担金
- 青少年の生活環境の保全の検討

◆国際交流事業

- 姉妹都市との交流
- 異文化交流

◆生涯学習推進事業

- 地区学習講座(歴史、民俗講座等)
- 地区民文化祭開催(作品展示、手作り教室ほか)

◆生涯スポーツ推進事業

- 生涯スポーツ教室
 - ・登山教室2回開催予定
 - ・世代間交流スポーツ

令和8年度 好地地区まちづくり委員会 構成員

会 長

藤 館 茂
1区推薦

副会長

菊 池 澄 子
16区推薦

副会長

成 田 博 和
19区推薦

監 事

佐 藤 純 一
1区推薦

監 事

高 橋 清 夫
19区推薦

総務企画部会	保健福祉部会	産業振興部会	生活環境部会	教育振興部会
部会長 菅 原 善 幸 18区推薦	部会長 那 須 千 賀 19区民生委	部会長 岩 館 大 輔 大正橋商店街	部会長 川 村 昭 造 19区推薦	部会長 伊 藤 真 治 19区推薦
副部会長 菊 池 潤 3区推薦	副部会長 高 橋 邦 夫 34区民生委	副部会長 関 裕 一 4区推薦	副部会長 藤 根 久 防犯好地支部	副部会長 高 橋 力 男 3区公民館
副部会長 高 橋 弘 16区推薦	副部会長 藤 原 繁 18区民生委	副部会長 内 山 雅 彦 18区推薦	書記 鎌 田 耕 治 5区公民館	副部会長 川 村 和 子 16区民生委
書記 松 岡 昭 治 17区推薦	書記 藤 尾 千百合 5区民生委	書記 佐 藤 輝 夫 16区町内会	書記 似 内 裕 司 17区推薦	書記 柳 田 和佳子 少年補導員
書記 佐 藤 日登美 婦人消防	書記 柏 原 正 勝 5区推薦	書記 畠 山 祐 一 17区公民館	照 井 美智彦 1区町内会	川 村 栄 一 稲豊公民館
高 橋 誠 4区自治会	川 村 明 6区民生委	佐 藤 政 芳 19区自治会	畠 山 純 郎 2区自治会	高 橋 淳 12区民生委
佐 藤 幸 生 6区公民館	菅 原 久美子 15区民生委	高 橋 朋 広 1区推薦	千 葉 肇 18区公民館	照 井 雄 之 4区推薦
高 橋 孝 利 1区推薦	藤 原 哲 司 17区民生委	高 橋 佳 之 2区推薦	小笠原 幸 浩 3区推薦	高 橋 恵美子 更生保護女性
根 子 紀 彦 15区推薦	熊 谷 絵莉香 2区推薦	菊 池 良 一 6区推薦	吉 田 俊 哉 5区推薦	工 藤 淑 石小PTA
藤 原 陽 子 好地婦人会	淀 川 東 子 3区推薦	長谷川 孝 志 6区推薦	阿 部 二 成 6区推薦	岩 亀 秀 樹 好地入米協
菊 池 雅 弘 消防12分団	木 村 智 子 16区推薦	柳 原 貞 夫 中央通商店街	藤 原 順 子 15区推薦	鎌 田 茂 樹 石鳥谷入米普
岩 館 富 夫 消防後援会	隅 田 悦 子 好地婦人会	照 井 明 弘 好地農家組合	千 葉 善 明 16区推薦	
		加 藤 真 利 商工会女性会	佐 藤 健 交通安全協会	
		藤 原 新 一 元氣サポーター		
理 事 菊 池 幸 治 2区区長	理 事 関 公 士 1区区長	理 事 菊 池 英 夫 3区区長	理 事 玉 山 俊 行 4区区長	理 事 菊 地 真 一 16区区長
理 事 本 間 行 夫 19区区長	理 事 高 橋 康 郎 5区区長	理 事 高 橋 進 15区区長	理 事 鎌 田 省 三 6区区長	理 事 吉 田 誠 18区区長

事務局長 北 村 義 裕

事務局員 岡 山 和 恵・青 柳 美 佳

編 集 後 記

第 126 号

5月7日の岩手日報に掲載された「経済的豊かさ岩手1位」という見出しが目を引きました。総務省の家計構造調査を基に、国土交通省が試算した「都道府県別の経済的豊かさ」についての記事でした。この指標は、中央世帯（収入の上位・下位各40%を除いた世帯）の所得から税金や社会保障費を引いた可処分所得から、食料費・家賃・光熱水道費などの基礎支出と通勤時間を費用換算した金額を差し引いて算出されたものでした。

東京都や神奈川県などの首都圏は給与水準こそ高いものの、通勤時間の長さや物価の高さが負担となります。一方、岩手県は、給与水準は必ずしも高くないも

の、通勤時間が短く、食料費や家賃などの生活コストが低いことから、結果として「経済的に豊かで暮らしやすい地域」と評価されたのだと思います。都会では給料が高くて豊かさを実感しにくい面がありますが、岩手には豊かな自然の中で、穏やかにゆったりと暮らせる魅力があります。この岩手の強みを、今後のまちづくりに生かしていくことができたと思います。

さて、令和8年度の事業計画を紹介する「好地まちづくりだより第126号」をお届けいたします。今年度も、地区における身近な課題の掘り起こしに努め、その解決に向けて事業を進めてまいります。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

（総務企画部会編集委員）